

久我山だより

令和5年5月31日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

6月は読書月間です

～本を読むことの効用～

副校長 吉川 昇

先日の運動会は、晴天にも恵まれ、子どもたちにとって充実した一日となりました。保護者の皆様の応援とご協力に感謝いたします。

さて、6月は読書月間となります。文科省から出ている「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」には、その冒頭で「子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」としています。

今の子どもたちの生活の中には、インターネットやゲームなど、より刺激的で手軽なものが数多くあります。そんな中で、静かに本と向き合う時間が、子どもたちに与える影響を考えていきたいと思えます。

読書をすることで、最も著しい効用は、「語彙力」の増加でしょう。文脈の中で触れる新しい言葉に自然と語彙が増えていくことが期待できます。

「語彙を増やす」というと国語の勉強の延長のように感じますが、子どもたち自ら獲得し

ていく語彙力は、長い目で見てとても力強く、有用なものだと思います。

またよく言われることですが、読書の効用の一つに、「疑似体験ができる」ことがあります。自分の頭の中で本に描かれた情景を想像しながら読み進めていくうちに、主人公と一緒に冒険・愛・友情・逆境を乗り越えることなど、多くの体験ができることでしょう。

感性を磨くこと、表現力を高めること、想像力が豊かになるなど他にも多くのことが見込まれる読書ですが、習慣になるにはなかなか時間がかかります。

読書の習慣を定着させるには、子どもたち自らが、その楽しさと豊かさに気付くしかありません。本の紹介、読み聞かせ、友達や家族の本を読む姿にもその「きっかけ」があります。

6月には、「先生たちのお薦めの本」の紹介があります。子どもたちが持ち帰った本を見て、何かご家庭でも話題にしてくださいとありがたいと思います。

6月の生活目標

校内の安全な過ごし方を考えよう

6月は雨の日が多くなり、校庭で遊べる日が少なくなります。休み時間を校内で安全に過ごすために、今月は教室の中での過ごし方や、廊下の歩き方などを改めて見直す生活目標を設定しました。学級でも、けがなく落ち着いて安全に過ごせるように指導します。

また、19日から水泳指導が始まります。プール使用時の約束を確認して、安全に楽しく学習を進めていきます。

(生活指導委員会 川岸 早保子)